

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所nicobase		公表日		令和 7 年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		療育・学習・調理など、それぞれの活動に応じたスペースを確保しています。また活動時は小グループをつくりグループごとに活動をしています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		現在8名の職員が在籍していますが、個別支援のさらなる充実を図る目的で専門的な資格を持つ人材の募集を継続しています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		下駄箱や荷物置き場、予定を記入したスケジュールボードは道線上に配置し、通所後スムーズに行動ができるように配慮をしています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		スタッフによる毎日の清掃のほか、療育活動の一環で子供たちによる清掃を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		自由に学習部屋や図書室の利用ができます。また必要に応じて静養室などの個室を利用できます		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員会議等で話し合い、各課題に対して担当者を決めながら取り組んでいます		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者アンケートの結果を踏まえて、職員会議等で話し合いを行い、運営や支援の向上に努めています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		スタッフが意見を言いやすい職場環境づくりを心がけて運営をしています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修の他に、定期的に内部研修を行い、職員の学ぶ機会を設けて支援の向上に努めています		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントに基づき各児童の状況に応じた個別・集団活動を適宜組み合わせた計画を作成しています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った複数の基本活動を組み合わせた支援を行っています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		1人の職員に偏らないように職員同士で集まり、アイデアを出し合いながら活動プログラムの立案を行っています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		固定化しないよう職員同士で話し合いをしながら活動プログラムの立案をしています		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		アセスメントに基づき各児童の状況に応じた個別・集団活動を適宜組み合わせた計画を作成しています		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		午前のミーティングにて、児童に合わせた支援を行えるよう役割分担を確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		勤務時間の関係上、支援終了後に打ち合わせをすることは難しいものの、翌日の午前中にミーティングを行い情報の共有をしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			日々の活動記録を用いて、ミーティングや会議等で支援の検証や改善に努めます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			指定基準に基づき定期的な計画書の見直しを行っています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			ガイドラインに沿った複数の基本活動を組み合わせた支援を行っています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			「自分で考え・自分で決定し・自分で行動する力」を育成する目的で、子供達が話し合いで決めた活動を行う日を設けています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			要請があれば、児童発達支援管理責任者が参加をしています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			要請があれば、関係機関と連携して支援を行っています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			電話連絡やSNS等で学校との情報交換や連絡調整を適切に行っています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			障害児相談支援事業所を通じて、児童発達支援計画に関する情報を共有しています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			保護者の同意を得た上で、関係機関に対し情報の提供を行っています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じて日々の支援に関する助言を要請しています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			不定期ではありますが、学生ボランティアを複数名受け入れており、体育館等で一緒に活動をする機会を設けています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		今後は、情報共有と連携強化を図るため参加できるように努めます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時や活動日誌・電話連絡・sns等で連絡をとりながら課題の共有に努めています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			送迎時やメール・電話等で密に連絡を取り合い、困りごとや行動改善のアドバイスをしています
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時や必要時には管理者や児童発達支援管理責任者が説明を行っています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			面談の機会を設けて児童や保護者からの意向を取り入れながら相談支援事業所の支援計画に沿った計画を作成しています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			保護者から相談があった際には、助言や支援を行っています
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			年に一度、保護者交流会を開催しています
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情があった際には迅速に対応をし、職員間で内容を共有しながら再発の防止に努めています

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月会報を発行したり、SNS等で日々の活動の様子を発信しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の重要性を認識し、個人情報に関する法令等を遵守するとともに、その管理・保護に努めています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		専門家のアドバイスを受けながら児童や保護者とのコミュニケーション及び情報伝達に配慮をしています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		交流のある高齢者施設の方を事業所行事に招待しています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		誰でも閲覧できるように事業所の玄関に各種マニュアル等のファイルを置いています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		基準に沿った避難訓練を実施しています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		定期的にあセスメントシートを記入していただき状況の確認に努めています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		配慮が必要な児童の受け入れがあれば、医師の指示処に基づく対応をします	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練や防犯カメラの設置等、必要な措置を講じています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員会議等で情報の共有をしています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法律に基づき虐待防止研修を定期的に行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		定期的に身体拘束適正化委員会を開催し、緊急やむを得ない身体抑制に関する同意書や計画書等の見直しを行っています	